



令和7年度寄附金等活用金額

1,875,594円

寄附金を活用したことによる具体的な効果

体験格差(※)の是正を図るため、生活困窮世帯の子どもを対象に様々な分野の活動を実施できた。

※体験格差とは：私たちが成長する過程で通常経験するであろう、学校外での自然体験活動や文化的体験活動などについて、経済的事情などの家庭環境が原因で経験できないこと。子どもの成長にあたって、考える力、理解し想像する力、自己肯定感等に影響を及ぼすと言われています。

活用実績

- ・公共交通機関の利用を体験するとともに、動物園遠足、牧場散策、水族館見学等を行い、多くの生き物に触れた。
- ・日帰りバスツアーや日帰りキャンプで日常訪れない地域を知ることができた。
- ・チョークアートや陶芸などアート体験を行うことが出来た。
- ・バーベキューや会食を通じ、仲間との交流を深めた。
- ・ボーリング、トランポリン等のスポーツ体験を行った。
- ・クリスマス会等、季節の行事を楽しんだ。